2年ぶりのキャンプに行ってきました!

アトム福大前 2018年09月03日
VIEW通信 第30号

●長者原湿原にて、左がユキ、右はカナです

■熊本と大分のキャンプ場を一泊ずつはしごしてきました!

昨年は我が家の引っ越しをお盆の間に行ったのでキャンプに行けませんでした。今年はどうしても行きたくなり、ぎりぎりで予約をしたので空きがなく、二か所のキャンプ場をはしごする羽目になりました。と言うのも我が家のお隣さんがとてもキャンプ好きらしく、夏だけでなく頻繁にご夫婦で行ってるそうなんです。そしてお薦めのキャンプ場を教えてもらったのでどうしても行ってみたくなりました。でも人気のキャンプ場らしく、2泊3日で申し込みしましたが、あいにく1日だけしか空いてなく、せっかくたくさんの荷物を持って行って1泊で帰るのは残念なので、12日に南阿蘇の鍋の平キャンプ場、13日に南小国の蔵迫温泉キャンプ場に行くことにしたのです。一度車からたくさんの荷物を降ろし、キャンプを設営し翌日また片づけて次も同じように設営するなんて、「よくやるねぇ、、、そんなに行きたいならいいよ。」と奥さんと犬たちを説得してのキャンプ旅行でした。

■益城熊本空港ICから南阿蘇へのルートは少しのう回路だけで無事進むことができました。

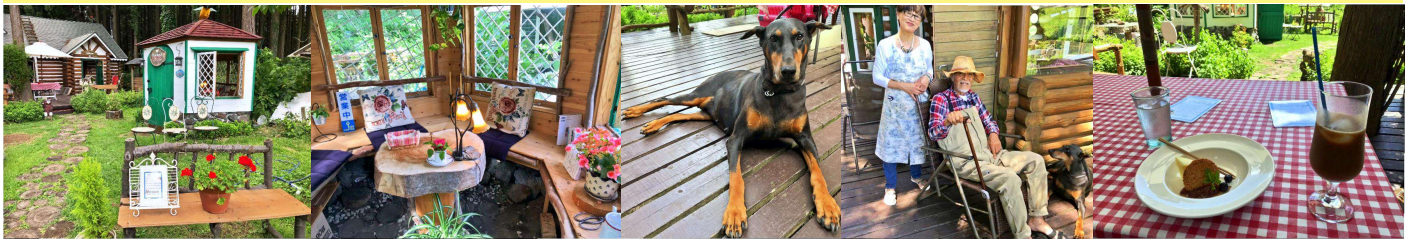
2年前はまだ地震の爪痕がしっかり残っていて、う回路もかなり遠回りで南阿蘇に入りましたが、今年は西原の交差点から少しのう回路で俵山トンネル経由で南阿蘇に向かうことができました。福岡市内は35度越えの暑さでしたが南阿蘇の高森は30度でした。

■ここからは通行止め、右う回路から俵山のトンネルです ■巨大スイカ購入 ■鍋の平に到着、テント、タープ設営後の昼食は「焼きそば」です

この鍋の平キャンプ場は約16年前からほぼ毎年利用しているところで、中級者以上のキャンプ場です。トイレは清掃されていますが水洗ではなく、水場は広いが古い設備です。お風呂は車で数分のところの高森温泉館があります。、根子岳のふもとの草原で、収容人数は十分余裕あります。地面は芝生ですがどこも斜めなので、慣れない方は熟睡できないかも。我々はエアーベッドがあるので快適に熟睡しています。料金はオートキャンプ場ではないので入村料がとても安く大人500円子供200円、タープ持ち込み1000円?だったと思います。以前はこのキャンプ場をベースに、高千穂峡や阿蘇山頂、買い物に高森に行ったりしていましたが、近頃はここの木陰でボンボンベッドでの昼寝が最高です!そうそう、気温ですが、なんと昼間で27度、木陰はさわやかな風が吹くと長袖が欲しいくらいです。福岡はこの期間36度越えだったそうです。 キャンプ場の前にあるカフェは以前ご紹介しましたが、とても素敵で、先月号に載せた干物をお土産にマスターとママ、ドーベルマンのローズに会いに行ってきました。お店はまた進化していました!

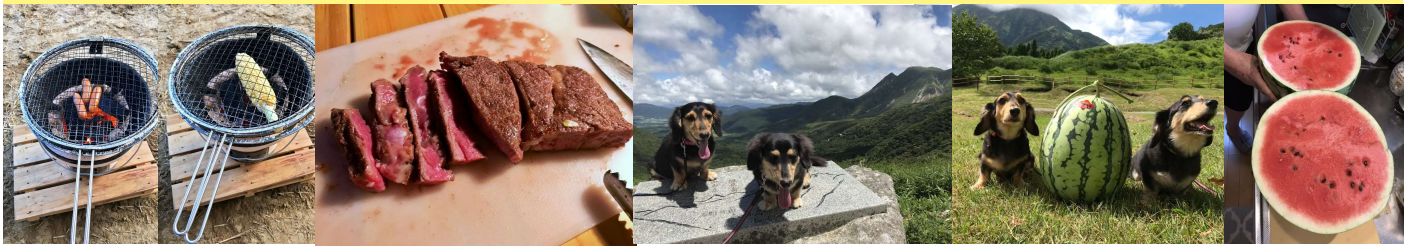
その日の夜は我々の友人夫婦がキャンプ場まで肉持ち込みで訪ねてきました。前日から大分の宝泉寺温泉に宿泊して、その帰りに一緒に食事をしに来てくれたのです。夜10時近くまでいて帰って行きました。寒いくらいの気温と満天の星空に感動し、500円の入村料でこんなおいしい食事ができるなんて!と次は絶対キャンプにすると張り切って帰って行きました。

■カフェ「山」です。建物はマスターのすべて手作り!新しい小さなお部屋もできていました。ドーベルマンのローズとご夫妻、ケーキ付コーヒーです



■「鍋の平キャンプ場」から「蔵迫温泉キャンプ場」へ。温泉入り放題で景色抜群のキャンプ場でしたが・・・

鍋の平を後に阿蘇の南登山口から山頂経由で大分へ、やまなみハイウェイから南小国にある蔵迫キャンプ場に行きました。受付でチェックインしてテントサイトに行くとなんとすごい眺望!阿蘇五岳が一望に望めます。しかし残念なことがありました!地面は芝生でなくパウダーのような細かい土。歩くと凄い埃が立ちます。車が通ると一瞬でテーブルはざらざら、テントは土だらけ。鍋の平に帰りたい・・・。しかし料金も払ったし頑張るしかない。黒靴は真っ白イスも犬たちも真っ白です。帰ってからの後片付けが思いやられました。

■蔵迫キャンプ場からの眺望、夜はペルセウス流星群が見えました。 ■埃だらけのテントとタープ ■エアーベッドは快適です!

■例の特製網で焼いています。お肉もきれいに焼けました。 ■翌日牧ノ戸峠から展望台まで登りました ■巨大スイカと犬たち ■でっかいでしょ?